

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 函館商工信用組合)

1. 項目	【大項目】 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 【小項目】 (2) 経営改善支援
2. タイトル	要注意先債権等の健全債権化
3. 動機 (経緯)	平成15年度以降の地域密着型金融推進計画において取り組んできている項目であり、当組合にとっても引続き継続的に推進する必要がある項目との認識によるものです。
4. 取組み内容	平成21年度は、対象先として27社を選定しました。 対象先に対して、営業店を中心にして訪問・面談を実施し、情報の収集に努め、問題点を把握するとともに、審査部と一体になって経営改善策を検討しました。 面談内容・改善状況については、四半期ごとに、営業店から本部あて報告することでフォローし、ランクアップ可能かどうかの判定をしました。 改善支援によるランクアップ目標は対象先の20%程度として、5先としました。
5. 成果 (効果)	【相手方にとっての成果】 経営改善のアドバイスにより、経費節減を図ることができた企業もあった。 【組合にとっての成果】 顧客とのコミュニケーションが増し、信頼関係を築けた。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	【評価】 景気動向等の企業環境の厳しい中、目標を達成したことはある程度の成果がありました。 【今後の課題】 今後とも経済環境も厳しさを増しており、内部人材の育成と今まで以上の取引先とのコミュニケーションを図っていくことが今後の課題である。
7. 新規・継続	新規取組み ・ 継続取組み (開始年度 平成16年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 函館商工信用組合)

1. 項目	<p>【大項目】 2. 事業価値を見極める手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p> <p>【小項目】 (1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み</p>
2. タイトル	北海道制度資金の活用と提携保証会社等の活用
3. 動機(経緯)	担保・個人保証に依存しない融資の推進にあたり、北海道制度資金の小口事業資金の活用と、保証協会の個人を含めた企業先に対して提携保証会社等の活用することとした。
4. 取組み内容	第三者保証不要の融資推進にあたり、従来より取扱いがあった北海道制度資金小口事業資金の推進と平成20年9月より取扱いの個人向け事業資金を活用した。
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <p>北海道制度資金小口事業資金の積極的取扱いにより、利率の引き下げとなった。個人向け事業資金の活用は低調に終わった。</p> <p>【組合にとっての成果】</p> <p>貸出残高の維持に結びついた。</p>
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>函館市制度資金「緊急小口運転資金」の廃止に伴う代替の商品として北海道制度資金小口事業資金の推進と提携保証会社との連携により企業向けローンと個人事業向けローンの推進を図り成果は相応に評価している。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>北海道信用保証協会との提携融資やその他の制度融資をどのように活用していくか、また、プロパーでの新商品の開発が今後の課題である。</p>
7. 新規・継続	新規取組み ・ 継続取組み (開始年度 平成20年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 函館商工信用組合)

1. 項目	【大項目】3. 地域の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生への取組み」 【小項目】(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供
2. タイトル	各種ローン商品の拡充とその活用
3. 動機(経緯)	ローン商品の拡充を推進
4. 取組み内容	顧客ニーズを踏まえ、ローン商品の拡充を進める際に特別利率による住宅ローンとマイカーローンを実施しております。
5. 成果(効果)	【相手方にとっての成果】 特別利率により、顧客に低金利で提供ができると共に、当組合取引業者にとっても取引の拡大ができた。 【組合にとっての成果】 顧客との取引拡大と組合員に低利の資金を提供できた。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	【評価】 顧客ニーズに合わせた低利のローン商品の推進を図ることができた。 【今後の課題】 ニーズの多様化が進み、商品の開発とそれに見合うコストの問題をどう解決していくかが課題である。
7. 新規・継続	新規取組み ・ 継続取組み (開始年度 平成19年度)
8. 添付資料	
9. 備考	